

昭和歯学会機関誌「Dental Medicine Research」投稿規定

1. 本誌に発表する論文は、本会会員のみによるものとし、本誌の目的に適し、他の雑誌に発表しないものに限る。

2. 倫理規定

ヒトを研究(実験)対象とする内容については、ヘルシンキ宣言を遵守して、倫理的に行われており、被験者および患者からインフォームドコンセントを得ていること。また、所属機関の倫理委員会の承認をえていること等の明記を必要とする。また、動物を対象とする場合にも、所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていること等の明記を必要とする。

3. 掲載区分

論文は総説、展望、研究原著、教育原著、症例報告、臨床報告、などの欄に分けて掲載する。

4. 投稿論文の採択

投稿原稿の採択は編集会議により決定する。採択論文については希望者に掲載予定証明書を発行する。

5. 著作権および複写権

本誌掲載の著作物の著作権および複写権は、本学会に帰属するものとする。なお、本学会はこれらの著作物の全部または一部を、ネットワーク媒体に含む媒体に掲載・出版することができる。

6. 掲載順序

原稿の掲載は原則として採択順とする。

7. 発行日および投稿締切日

本誌は年間3回(3月、7月、11月の末日)発行とし、各号の投稿締切日は10月、2月および6月の末日とする。

8. 投稿論文の届け先

原稿は本文・図表共2部(写真はコピー不可)に投稿票(本誌綴じ込み)、投稿チェックリスト用紙を添えて昭和歯学会事務局に直接持参するか、または書留郵送することとする。原稿は原則として返却しない。

9. 原著および症例報告原稿作成上の注意

1) 和文原稿

(1) ワードプロセッサ等を用い、A4判用紙に横書き1行25字30行で印字する。左右は約4cmのスペースをあけること。欧文を混ぜるときは原則として半角で印字する。数字はアラビア数字とし、学名および外国語の固有名詞は原則として原綴とする。

(2) 表紙には、表題(副題は改行する)、著者名、所属、主任教授または指導者名を和文および英文で

書き、本文は2枚目から記す。

(3) 本文は、原則として要旨、序文、材料と方法、結果、考察、文献の順とし、通しページ番号をつける。症例報告・臨床報告の場合は、原則として要旨、序文、症例、考察、文献の順とする。本文に図、表、図表の説明を添付する。図表とその説明は原則として英文とする。

(4) 英文の要旨(Abstract)を添付する。A4判用紙1枚に表題、著者名、所属、所属機関の所在地(郵便番号)、要旨、Key words(5語以内、症例報告は3語以内、小文字)の順にダブルスペースで打つこと。要旨は250語以内にまとめること。

2) 英文原稿

(1) 英文は、A4判用紙にワードプロセッサを用いてダブルスペースで印字する。左右のマージンを約2.5cmあけること。

(2) 表紙には、英文で表題(副題は改行する)、著者名、所属、主任教授または指導者名を書き、本文は2枚目から記す。

(3) 本文は、(Abstract 250語以内)、Key words(5語以内、症例報告は3語以内、小文字)、Introduction, Materials and Methods, Results, Discussion, Referencesの順とし、通しページ番号をつける。本文にFigures, Tables, Legendsを添付する。英文症例報告の場合も原則としてこれに準ずること。

(4) 英文は事前に専門家あるいは熟練者に校閲を受けた原稿を用意すること。

3) 項目分けは1・2・3・……、1)・2)・3)・……、1)・(2)・(3)・……、の順で用いる。要旨、序文、材料と方法、結果、考察、文献等には番号をつけず、上下1行を空ける。大項目は上のみを空け、中および小項目は空けない。

4) 略語・略号は国際的に慣用されているものを用いる。単位は原則としてSI単位を用い、その記号は下記の記号表例に従う。

記号表例

重量	kg	g	mg	μ g	ng	pg
				mol	μ mol	nmol pmol Eq wt
長さ	m	cm	mm	μ m	Å	nm
面積	m ²	cm ²	mm ²			
熱量	kcal	cal				
容積	l	ml	μ l			

濃 度 M mM μ M nM pM % ppm ppb
 mg% (mg/dl)
 時 間 h min s ms
 温 度 $^{\circ}$ C K
 放射能 Ci mCi μ Ci cpm dpm
 その他 Km pK Rf pH V_{max} B_{max}

5) 文献は引用箇所に引用順に番号をつけ、本文の末尾に番号順に並べる。雑誌は、著者(原則として全員)、表題、雑誌名、巻、頁(始めと終わり)、年(西暦)の順に、単行本は著者、表題、発行地、発行年(西暦)、発行所、引用頁(始めと終わり)の順に、分担執筆による単行本については、分担項目執筆者名、分担表題名、編者名(監修者名)、単行本名、発行地、発行年(西暦)、発行所、引用頁(始めと終わり)の順にする。雑誌の略名は医学中央雑誌略名表および Index Medicus に準拠すること。

文献記載法例

- 1) 京泉秀明, 山田純嗣, 伊藤光哉, 鈴木敏光, 久光久: 各種歯面処理剤が光硬化型ガラスイオノマーセメントの接着強さに与える影響. 日歯保存誌, 48: 712-717, 2005
- 2) 松本光吉: ニッケル・チタンファイル基礎と臨床—さらに効率と安全を追求した根管形成法—. 京都, 2005, 永松書店, pp 58-60
- 3) 高橋浩二: ドライマウスと嚥下障害. 斎藤一郎監修, 斎藤一郎, 篠原正徳, 中川洋一, 中村誠司編. ドライマウスの臨床. 東京, 2007, 医歯薬出版, pp 200-207
- 4) 須田玲子, 鈴木基之, 山本松男: 糖尿病を有する慢性歯周炎患者にエムドゲインを適用した症例. 日歯周誌, 48(秋季特別号): 241(抄), 2006
- 5) Yamamoto H, Shibata Y, Tachikawa T, Miyazaki T: In vivo performance of two different hydroxyapatite coatings on titanium prepared by

discharging in electrolytes. J Biomed Mater Res B Appl Biomater, 78: 211-214, 2006

- 6) Nakajima K: Nerve distribution in the masticatory muscles using a human silicone permeation method. Causes and Effects of Human Variation. 2001, Adelaide, The University of Adelaide
- 7) Shibata Y, Miyazaki T: Antibacterial titanium plate anodized by discharging in NaCl solution exhibits cell compatibility. In Watanabe M, Takahashi N, Takada H (eds): International Congress Series 1284 Interface Oral Health Science. Amsterdam, 2005, Elsevier B.V., pp 284-289
- 8) Nakamura S, Inoue T: Postnatal Changes of Neuronal Circuits Involved In Controlling Jaw Movements. IADR Abstracts 1005 (2006), Journal of Dental Research, July 2006
- 6) 図(写真)および表は; Fig. 1, Table 1, などとして1枚ずつに作成し、すべて本文末にまとめて綴じること。挿入箇所は本文の余白に赤で示す。
10. (査読後)訂正後受理された原稿に、本文・図・写真など全てを入力したコンパクトディスク(CD)を添えて提出することが望ましい。CDを提出する場合には、使用した機種名、ソフト名、バージョン名を明記する。
11. 校正は再校までとし、著者が行い、指定期日内に返却するものとする。
校正にさいして誤植以外の訂正、変更、削除、挿入はさけること。
12. 掲載料
 - 1) 論文は図(写真)および表を含めて刷上り4頁までを無料とする。ただしカラー印刷を希望する場合には、その料金は著者負担とする。4頁を超過した分は著者負担とする。別刷料金は別途定める。
 - 2) 編集委員会からの依頼原稿の掲載料は無料とし、別刷30部を贈呈する。